

「トンボ池」を地域の宝に

土ほこりの多さにびっくり。運動場側の校舎の窓ガラスは土ほこりで汚れ、レール部分には土がいつばいたまっています。窓を閉めておいてもいつのまにか窓際の欄の上は土ほこりでずぐに白っぽくなってしまいます。そのためか運動場には放水銃型散水機が四基設置されています。この環境を嘆くのではなく、考え方を換えればこの運動場や周囲の田畑は木曾川が運んでくれた土砂でつくられています。私たちは木曾川の恵みとして感謝しなければならぬのかも知れません。

かさまつの子

笠松町道徳教育連絡会議

私たちのふるさとにはもう一つ感謝しなければならぬものがあります。それは「トンボ池」です。



本校では、毎年六月に親子活動として「トンボ池」の清掃活動を行っています。

地元の自然を大切にしていることができた。それ以上に親子で「ゴミ拾いをする」と

により、普段あまり話す機会のないモラルについて少しでも考える場になり、有難義に遇うことが何よりであったと思います。……

トンボ池親子清掃活動を終えたのPTA父親委員長さんの言葉にもあるように地元の自然を代表するのが「トンボ池」なのです。

木曾川トンボ天国周辺には約二百四十種類の草花が四季折々に花を咲かせます。約三十八種類のトンボたちが住んでいます。

こんなすばらしい自然を守っていくのが私たちの務めです。子どもたちに自然のすばらしさを体感させることが私たちの務めです。将来にわたって、わがふるさの自慢として胸をはって語るようにしていくことが私たちの務めです。



下羽栗小学校
校長 安田豊

教育委員会
だより

もしすぐ夏休み

生涯学習ガイド

入る前は「四十日以上もあるからな・・・何をしようかなあ・・。」と、ワクワク、ドキドキの夏休みですが、終わってみると、「いったい自分は何をしていたのだろう。」との後悔が先に立つのが毎年の常ではないでしょうか。

保護者のかたがたもそんな夏休みをずっと経験されておみえになったのではありませんか？

スポーツ少年団や部活動、あるいは習い事といったように、毎日の日課をきちんと決めている子はしっかりと充実した夏休みとなることでしょう。しかしながら、何のめあてもなく、これといった目標も持たずに長期の休みに突入すると、往々にして怠惰(たいだ)な毎日を送ってしまふものです。

そこで、笠松町で開かれる夏休みの子ども教室や、さまざまな体験活動を計画の中に入れてみてはいかがでしょう。笠松町での小中学生参加型の事業をいくつか紹介いたします。

事業名	期日	内容	問合せ先
Eポート体験	7/24(日)・31(日)	親子で参加	中央公民館 ☎388-3231
	7/25(月)・31(木)・8(日)	小学校5・6年生だけで参加	
親子教室	夏休み期間	マジック教室・物作り・押し花アート トールペイント・おやつ作りなど	
馬と遊ぼう	8/7(日)・21(日)	笠松競馬場の見学・馬のお話 乗馬体験	児童館 ☎388-0811
小学生参加事業	7/27(水)～29(金)；どろだんご作り、8/2(火)；わりばしを使った小物入れ作り、8/9(火)；万華鏡作り		

教育電話相談

～悩んだら気軽に電話してください～

羽島郡三町教育委員会

☎245-1133